

2018年11月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+3.2	立 川 店	△10.0
堺 店	△9.3	大 宮 店	+0.0
京 都 店	+1.8	柏 店	+2.5
泉 北 店	+2.6	(株)高島屋単体 13店舗	△0.5
日 本 橋 店	△3.7	岡 山 高 島 屋	△0.4
横 浜 店	△2.9	岐 阜 高 島 屋	△5.9
港 南 台 店	△2.1	米 子 高 島 屋	△2.5
新 宿 店	+0.4	高 崎 高 島 屋	+0.4
玉 川 店	△1.4	(株)高島屋単体 および 国内百貨店子会社 17店舗	△0.5

※京都店の売上高は「洛西店」を含みます。

※横浜店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」「タカシマヤ スタイルメゾン海老名店」、柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、岡山店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

※日本橋店は9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それらを調整した実質では前年比△2.0%となります。

■ 概況

○11月度の店頭売上は、高額品や免税売上が伸長したものの、コートやマフラーなどの防寒アイテムの動きが鈍かったことに加え、文化の日が土曜日に重なった影響などもあり、前年を下回りました。

なお、免税売上は前年比+8.5%となりました。

○店舗別売上は、大阪店・京都店・新宿店が前年比プラスとなりました。地方郊外店では泉北店・大宮店・柏店・高崎店が前年を上回りました。なお、立川店・堺店・米子店は前年同月比で売場面積が縮小しております。

日本橋店も、9月からレストラン街の運営を東神開発に移管したため、百貨店としての売場面積が縮小しております。

○商品別売上は、特選衣料雑貨（当社分類による17店舗ベース、以下同じ）が大きく売上を伸ばしたほか婦人雑貨・宝飾品・食料品などが前年比プラスとなりました。一方で、紳士服・紳士雑貨・婦人服・子供服ホビー・リビングなどは前年に届きませんでした。